第198号 2023年12月号（1）

一般社団法人 都城国際交流協会会報
MIA NEWS
ミア　ニュース

編集発行:一般社団法人都城国際交流協会
〒885-0073 都城市姫城町4-1
都城市役所北別館 都城市国際交流センター
電話 0986-23-2295 FAX 0986-23-3223
http://miyakonojo-mia.com/
E-mail mia@btvm.ne.jp

末森寧々花：短期留学をしました！

私は、宮崎県立都城西高等学校2年生の末森寧々花（ねねか）です。私の留学体験について紹介します。

私は、2023年9月15日から10月8日までの25日間、モンゴルの首都ウランバートル市にあるORKHON KHASU INTERNATIONAL SCHOOL(オルホン・ハス)に短期留学しました。

その留学は、「トビタテ留学JAPAN 」の制度で行かせていただきました。この留学をすることにあたって私は二つの目的がありました。1つ目は、今、習い事としてやっている日本舞踊を広める。2つ目は、将来、警察官になる夢があり、どんな国籍の人でも柔軟に対応できる警察官になるために、様々な価値観に触れ、現地でしか学べないことを学ぶというものです。留学は、2022年に日本・モンゴル外交関係樹立50周年記念のイベントに、日本舞踊を通して参加させて頂いたのも大きなきっかけだったと思います。

左が寧々花さん。親友になったホストファミリーと。

そして、いよいよ留学することになりました。現地ではインターナショナルスクールに通いました。1人で海外に行くのも初めて、言語が通じるか分からない状況で、とても不安な気持ちもありましたが、空港に着いた時から、周りの人の温かさに助けられ、不安になることがなかったです。特にみんなで頑張って日本語で話しかけてくれるのが嬉しかったです。ホストファミリーがモンゴルの田舎に連れていってくれたのも、一番の思い出として残っています。

日本文化体験：折り紙紹介

いつも教科書で見ていたゲルを初めて自分の目で見たり、馬に乗ったり、命のありがたさを改めて学んだり、人生で二度とないような経験をすることができました。ホストマザーがモンゴルの伝統的な料理をよく振舞ってくれました。モンゴルでは羊肉をよく食べるようで、特有の臭みはなく、とても美味しかったです。味付けも薄味で本来のお肉の旨みも味わえました。

モンゴルに来て一番驚いたのは車の多さです。渋滞するのは当たり前の光景でしたが、その分ホストファミリーと会話が弾み、楽しい時間が過ごせました。

そして、何と言っても寒さです。私がモンゴルに行った10月は、日本は28℃と真夏日でした。モンゴルのウランバートルでは、3℃の日が続いて気温の差がありましたが、家の中は半袖で過ごせるくらい温かく、モンゴルの生活は快適でした。

クラスメートとを見に行ったチンギスハーンの騎馬像

少し車を走らせれば、とても綺麗な自然に出会えます。テレルジ国立公園という有名な観光地等などにも、クラスの皆が連れて行ってくださいました。私は、その時の感動と嬉しさとが、今も目と心に焼きついています。普段は目を向けないところに目を向けることができ、自然にも癒されました。

インターナショナルスクールでは、日本語の授業もあり、私は日本語の先生をさせていただきました。中でも折り紙がとても人気でした。そしてクラスの皆さんが日本の文化にすごく興味を持ってくれて嬉しかったです。

私は、日本の文化を伝え、モンゴルの文化をたくさん学ぶことができました。

この素晴らしいモンゴルの留学は、私の人生の糧になり私の自信になりました。そしてこれからも、モンゴルのファミリーや学校の友達とずっと繋がっていられると思います。これからも勉強に、日本舞踊に励み、またいつかモンゴルの皆さんに会いに行けるよう頑張って行こうと思います。

お見送り

※「トビタテ留学JAPAN」…文部科学省が2013年に開始した留学促進キャンペーンです。意欲と能力ある全ての日本の大学生や高校生が、海外留学に自ら一歩を踏み出す機運を醸成することを目的としています。

「冬のおじいさん」

～都城市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

12月はクリスマスと年末の雰囲気ですね。旧正月を祝うモンゴルですが、年末は「シンジル」（新年）と呼ばれるパーティーがあり、子どもも大人も楽しめます。年越しと合わせてクリスマスを祝う習慣があり、幼稚園や学校では歌やダンスなどを披露、職場では盛大に忘年会を開催し、盛り上がります。

ほとんどの学校や会社は、クリスマスツリーを飾り、シンジルのパーティーには、サンタクロースが訪れます。モンゴルではサンタクロースのことを「ウブリーン・ウブグン・アーブ」と言います。直訳すると「冬のおじいさん」という意味です。白いデール（デール：モンゴルの民族衣装）を着た、冬のおじいさんはシンジルパーティーに登場し、挨拶したり子どもたちにプレゼントを配ったりします。

モンゴルの冬のおじいさんは1947年に誕生しました

デールの白色は純白な心と平和、長いヒゲは長寿、帽子の赤色の天ボタンは強大な力を象徴しています。

新年カウントダウンは花火で迎えます
（ウランバートル市、スフバートル広場）

冬のおじいさんは「雪娘」（孫娘）を連れ、白馬に乗って移動します。国家の冬のおじいさんもいて、国が主催するシンジル祝賀会などに登場する名誉の役割を果たします。

私は今でも冬のおじいさんが存在していると信じています（笑）。毎年12月はクリスマスやシンジル（新年）にまつわる映画を見たり、何か魔法のような出来ことが起こったりすると期待しています。

「中国のお正月」

～都城市中国国際交流員 河 連英さんによる中国紹介～

あっという間に、2023年も師走を迎えることになりました。今回は年末年始の最大行事であるお正月について紹介したいと思います。

「元旦」と「春節」

中国のお正月は、「旧正月」とも言い、中国の最大な伝統祝日で、中国語で「春節（チュンチェchun jie）」です。そして、新暦の1月1日を中国語で「元旦（ウエンダンyuan dan）」と言います。大晦日は、「除夕」或いは「除夕夜」と言います。「元旦」は一日だけが祝日で、「春節」は1週間休みます。

除夕

「春聯」

中国では新年を迎えるために赤いモノを家や車などにたくさん飾ります。その中でも欠かせないのが「春聯（チェンレンchun lian）」です。平安や吉祥を意味する文字が書かれた赤い紙をドアの外側に貼ります。「春聯」は、縦書きに書いて短文の紙を左右に1枚ずつ、4文字の横書きを上に貼ります。「春聯」を購入して貼ることが多いですが、自分で書いたものを貼る人もいます。他には、その年の干支の動物をモチーフにしたモノや中国風の切り絵を貼ります。家族で協力しながら、春聯を貼ることはとても楽しいです。

貼春联

「年夜飯」

中国では旧暦の12月31日を「除夕（Chu Xiチュシー）」と言い、この日の夕ご飯のことを「年夜飯（nian ye fan）」と言います。「年夜飯」は、一年中で最も盛大な家族での食事会で、「魚」など縁起の良い食べ物で食卓を彩ります。

年夜饭

「春晩」とカウントダウン

20時からは家族で「春節聯歓晩会」という番組を観ます。日本の紅白歌合戦のように昔から定番のお正月番組ですが、歌や舞踊以外に漫才などもあります。「春晩」と一緒にカウントダウンしてから、餃子をお湯にゆでて食べます。1つだけ、きれいに洗ったコインを入れて包み、当たった人は「新年はとてもラッキー」だと言われています。0時に湯園（タンウエン tang yuan）を食べる地域もあるそうです。

コイン入り餃子

「圧歳銭」

「圧歳銭」とはお年玉のことで、自分の子供と親戚や知人の子供たちに赤い封筒に入れて手渡しをします。近年の中国はキャッシュレスが進み、都市部では「圧歳銭」でさえ電子マネーになり、儀式的な感覚が薄れてきました。

近年の事情

実家に帰省して家族で過ごすのが一般的ですが、結婚を催促されるのが嫌で、または「圧歳銭」の用意に困り、帰省しない若者もいるそうです。また近年は、家族で旅行先で過ごす傾向もあります。これまで3年ほど制限された海外旅行も解禁され、2024年は、海外も人気になりそうです。

紹介は以上ですが、中国は面積も広く、多様な民族があり、地域や家庭によって過ごし方が多種多様です。中国人と話す機会がありましたら、ぜひその人にも「春節」について聞いていろいろ尋ねてみてください。

圧歳銭

～協会からのお知らせ～

◇ワールド・フェスタin みやこのじょう2024 ボランティアスタッフ募集！

ワールド・フェスタに協力してくださる団体、個人、ボランティアスタッフを募集します。(都城市又は三股町にお住いの方)。皆様のご協力をよろしくお願いします。

日 時： 2024年3月2日(土) 12:00～16:00
会 場： 都城市総合文化ホール(MJ)
イベント内容：海外の国や地域の紹介など。
募集対象： 国際交流、国際協力や多文化共生などワールドフェスタの目的に沿うもの。

募集内容：

①国や世界の地域紹介ブース
体験交流できるもの。展示のみは不可
(モンゴル、中国、アメリカ以外の国や地域を募集します)
②国際交流、国際協力等の団体活動紹介コーナー
パネル展示

③ボランティアスタッフ
・前日(2024年3月1日<金>)の会場設営準備（荷物運搬やパネル設置など）
・当日のブース準備、終了後の片付け
・国紹介ブース補助、・会場内案内
＊希望者多数の場合、調整させていただきます。
＊今年度はステージ発表はありません。
＊各ブースの広さ、位置、パネルの数は参加団体数によって調整します。
申込み締め切り： 2024年1月12日（金）
申込み・問合せ： いずれの募集も事前の申込みが必要です。団体名、お名前、参加内容を電話、E-mailでMIA事務局までご連絡ください。

申込み・お問合せは（一社）都城国際交流協会(MIA)まで電話またはE-mailでお願いします。
電話： 0986-23-2295
E-mail： mia@btvm.ne.jp

◇初春（はつはる）イベント 展示コーナー出展！

都城市総合文化ホールで、新年体験イベント『初春☆夢をつなごう！』が開催されます。協会も展示ブースを出展します。

ミニステージでは、都城市ALTのカイル・ジョンソンさんのパフォーマンスも行われる予定です。
日 時： 2024年1月6日（土）13：00～16：00
会 場： 都城市総合文化ホール 1階ロビー
主 催： 都城市文化振興財団・MAST共同事業体
協会ブースについての問合せ： 一般社団法人都城国際交流協会事務局まで
初春イベントについての問合せ：都城市文化振興財団
TEL： ０９８６－２３－７１４０
ホームページ https: //mj-hall.jp/

県民向け国際理解講座（都城市）『アメリカ編』受講者募集中！

都城市国際交流員のセス・ランディス・スティールさんに、アメリカ東部の多様性とTang Soo Do（タンスー道）について様々な角度からお話をしていただきます。

◇日時：令和6年2月3日（土）
　　14:30～16:30
◇場所：都城市役所北別館2階　共有会議室
◇講師：セス・ランディス・スティール　氏
◇定員：15名（先着順）
◇参加費：無料
◇申込方法：氏名・住所・電話番号を、電話・ファックス・メール・来館でお知らせください。メールの場合は、件名を「国際理解講座・都城」と明記し、宮崎県国際交流協会までお申し込みください。
◇申込締切：令和6年1月20日（土）
◇問合せ・お申込み：
主催：公益財団法人 宮崎県国際交流協会
◇Tel: 0985-32-8457 Fax:0985-32-8512
E-mail: miyainfo@mif.or.jp

編集部より

12月8日は、John Lennonの命日です。ジョンは、1940年生まれ、62年レコードデビュー、70年ビートルズ解散、80年40歳で死亡と、割と覚えやすい年に人生の節目を迎えています。80年にダコタ・ハウスの前で狂信的なファンだったマーク・チャップマンから射殺された時は、全世界に衝撃が走りました。「あれから43年経つんだなー。」ジョージは2001年に亡くなったけど、ポールとリンゴにはいつまでも長生きして活躍して欲しいです。
[徳留]

皆さん、こんにちは。
今月もまたまたこりずに『全国行ったつもりでぶらり旅コメント』はじめまぁすよーーーm（ 。）m
今回は鳥取県。鳥取県と言えばダントツで『鳥取砂丘』が思い浮かべる人が多いでしょう!その広さはなんと驚きの東京ドーム820個分なんだそうです ！(0_<)びっくりする広さですね!!
そんな鳥取県にも多くの逸話や昔話、神話があります!!その中で気になった昔話を一つ紹介しますね。
「和尚と小僧（おしょうとこぞう）」という話です。
昔、檀家（だんか）からの供え物がたくさん届くお寺があったそうで、ある日、和尚さんの好物の「あんころ餅」が供えてあり、和尚さんは小僧さんに「あんころ餅だけは残しておくんやぞ」と言って出掛けられたそうです。
和尚さんが帰るとあんころ餅は無くなっていて、小僧さんにたずねたんだそうです。「お前が食ってしまったのか。」と。小僧さんは「私は食っておりません。御本尊の口のまわりにあんこがついとります。御本尊がお食べになったのでは･･･」
そんなことはないと思いつつ、和尚さんは御本尊を大きな釜で煮たんだそうです。すると、「クッタ、クッタ」と音を立てて･･･小僧さんが「やはり御本尊が食べたのですね。こらしめないといけません。」と御本尊の頭をたたくと「クワァーン、クワァーン」と音がしたそうです。そのあと小僧さんが和尚さんに叱られたことは言うまでもないですね
ダジャレではないですが、モンゴル語にも日本語とほとんど同じ発音の違う言葉があって面白いです。たとえば、「ヤマー、テメー」と喧嘩してそうな感じがしますが･･･「山羊、らくだ」ってことです！　(@_@;)次回は岡山県です。
[西畑]

12月といえばやはりクリスマス!学生の時、ふと、他の国ではクリスマスをどんな風に過ごしているのだろうかと気になって調べてみたことがあります。その時一番衝撃的だったのは、オーストラリアなどの南半球でサンタクロースがサーフィンをしている画像で、思わず笑ってしまったのを覚えています。思い出したついでにまたいろんな国のクリスマスを調べてみたのですが、フランスは10月中旬からお祭りムードになり、アドベントカレンダーやクリスマスマーケットを楽しみながら当日を待つのだとか。写真を見てみましたが、とても楽しそうでした!海外へのあこがれがまたひとつ、強まってしまいます。
[川内]

12月2日に、中国百科検定試験2級にチャレンジしました。『中国百科』という日本語テキストで、中国の地理、民族、宗教、世界遺産、政治、法律、経済と産業、5000年以上にわたる歴史、文学、映画、食文化、スポーツ、教育、科学技術など、まんべんなく体系的に学習し、試験を受けました。
中国人の私がなぜ受験するのか、疑問に感じられるかもしれませんが、それは、これまで日本人に中国のことを聞かれた時、何度も回答に困ったことがあったからです。また、自分の回答が正しいのか、客観的なのか、不安に思う時もよくありました。どうにか解決したいと思った時に、ちょうどこの書籍・試験に出会い、受験することに決めました。
受験した理由は、主に3つありました。一つ目は夫婦別姓や少数民族のこと、生育保険の有無などは、中国人にとって当たり前すぎて、中国の特徴だと感じたことがなく、日本人への紹介ポイントがよく分かりませんでした。2つ目は中国語では知っているけど、日本語では言えなかった点です。例えば、四川省にある世界遺産、峨眉山の「佛光」は日本語で「ブロッケン現象」と言う、あるいは地名、人名、映画や文学作品の日本語の言い方などに困っていました。3つ目は、はずかしながら、そもそも知識がない、知らない点です。特に文学、映画はこれまで詳しく触れたことがなく、受験勉強を通じて初めて知ることが多かったのです。
この書籍・試験の企画団体、執筆した専門の教授らやスペシャリストの方々に大感謝です。2級は、「中国通」というコースですが、合否に関係なく、試験をきっかけにたっぷり勉強できた点が何より有意義でした。
[かれん]

2月といえば、クリスマスタイムですね。アメリカ人にしたら、クリスマスは結構大イベントなのです。家族と友達ともプレゼントを交換したり、クリスマスの食べ物を食べたりしますが、何よりも愛している方と時間を過ごすのは大切です。しかし、今年、家族から離れているので、自分にプレゼントをあげるのはどうかな。。。アメリカでは、そういう文化があります。アメリカは個人主義が行き渡っている国なので、自分のために何かをするのはよくしています。というわけで、今年のクリスマスの案はまだ決めていないですけど、少なくとも”I'll treat myself like a king”。英語圏では、この表現はかなり使います。「自分の方に王として待遇する」と言う意味を持っています。では、私はこれで、Merry Christmas everyone!
[セス]

2023年は私にとって有意義な一年でした。様々の方に支えていただき、充実した日々をおくることができました。国際理解講座やMIAのイベントを通して、たくさんの市民と接する機会もありました!2023年は一期一会とも言えます。
新しい年がみなさんにとって素晴らしい1年でありますように!今後ともよろしくお願いいたします。
[ヒシゲ]

今年4月3日、一般社団法人都城国際交流協会として再出発しました。法人化するにあたっては、個人会員のみなさま、法人会員のみなさま、そして役員の皆様の御協力をいただきました。深くお礼を申し上げます。
[藤元]

密かに密かに憧れているのが、ヒシゲちゃんを「ヒシゲー」と呼ぶことです。ソヨちゃんはヒシゲちゃんをこう呼んでいるのです。モンゴル語への憧れなのか、モンゴルの文化への憧れなのか、二人の関係への憧れなのか分かりませんが、越えられない何かの壁が私の中にあるようです。
[迫田]

手帳やカレンダーの今月分を捲ったら、いよいよ新年ですね。
この時期にこそ、今年いっぱいを一度振り返ってみるのが好きなことの一つですが、もちろん当たり前のように、来年こそ!と思っていることもたくさんあります。ゆく2023年ありがとう!そして、来る2024年ようこそ!皆さんにとって2024年も素敵な一年になりますように!
[ソヨ]